



新年のご挨拶

新潟県税理士協同組合

理事長 三村 幸

組合員・賛助会員(以下、組合員等)の皆様、ならびに提携企業の皆様、新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のご祝詞を申し述べます。日頃より新潟県税理士協同組合の事業に対し格別のご理解とご協力を賜り、ここに深く感謝申し上げます。

昨年の新潟経済を展望すると、地域が抱える構造的な課題と新たな成長機会の両面が浮かび上がります。人口減少と高齢化が進む新潟では、特に中小企業において後継者不足が一層深刻化しています。県外への若年層流出が続くなか、企業存続に向けた事業承継やM&Aの重要性は高まりつつあり、地域企業の経営基盤強化が急務となっています。一方で、新潟の強みである農業や食品産業では、スマート農業の導入などによる高付加価値化が進み、産業構造の変革が見られました。自動車部品や精密機器に代表される製造業では、脱炭素化や省エネ投資への対応が求められ、技術革新とコスト管理が企業競争力の鍵となりました。観光分野においては、佐渡や温泉地を中心に国内外からの需要回復が進んでおり、地域経済に明るい兆しも見えました。また、新潟市を中心にスタートアップ支援やDX推進の機運が高まり、地方創生の新たな動きとして注目されました。このような経済状況の中、新潟県税協は、組合員等の皆様の温かいご協力を賜り、昨年も円滑に事業運営を行うことができました。この機会に、皆様のご尽力に対し謹んで御礼申し上げます。

新潟県税協の事業について少々報告いたします。昨年も「税務インデックスの配付」を行いました。「希望書籍の無償配付」についても例年通り行わせていただきましたが、事務局賃料確保などのため10,000円とさせていただきます。研修会については4月に岩下忠吾先生、9月に石井幸子先生、10月に小林俊道先生、11月は金井恵美子先生をお招きし、実施することができました。サテライト会場を設けた新潟県下3会場での研修形式も引き続き採用いたしました。福利厚生事業では、9月に多くの参加者を迎えてチャリティーゴルフ大会を開催いたしました。各提携企業の皆様からもご挨拶と多数の賞品の

ご提供をいただきました。誠にありがとうございました。ご参加の皆様と各提携企業の皆様との交流が大いに図れました。また、11月の麻雀大会は引き続き麻雀荘ソロモン赤道店様を会場として、開催いたしました。新潟グランドホテルで麻雀大会後の懇親表彰式も大変楽しい会となりました。競技会場と表彰式会場を分けるという麻雀大会の開催形式も浸透してまいりました。皆様ご協力ありがとうございました。麻雀大会におきましても各提携企業の皆様より多大な賞品の提供をいただき、感謝しております。

本年も我々を取りまく変化の中で、税理士の役割も大きく変わりつつあります。従来は税務申告にとどまらず、企業経営のパートナーとしての機能がより強く求められるようになりました。事業承継やM&Aの分野では、株価算定、財務デューデリジェンス、承継計画策定など高度な知識が必要となり、専門性を活かした支援への期待が高まっています。さらに、補助金や金融機関との連携を含む資金繰り支援は、多くの企業にとって欠かせない役割であり、経営改善計画の作成など具体的な経営支援のニーズは増加傾向にあります。また、企業のデジタル化が避けられないテーマとなる中で、クラウド会計や電子帳簿、インボイス制度への対応など、税理士が実務レベルで支える領域は広がっています。加えて、財務諸表の数字を経営に活かすコンサルティングの重要性が高まり、キャッシュフロー改善や収益構造の分析など、経営者の意思決定を支援するアドバイスが求められています。新潟県税協は、こうした課題に組合員等の皆様と共に取り組み、研修や情報提供の強化、組合員等同士の連携を促進する施策を進めて参りたいと思います。

本年が組合員等の皆様にとりまして、実り豊かな一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新潟県税理士協同組合は、皆様と歩みをともにし、地域社会および経済の発展に貢献できる存在であり続けるよう努力を重ねてまいります。新しい年が希望に満ち、皆様のご健康とご多幸が一層の輝きを増しますよう祈念し、年頭のご挨拶といたします。